

第1回花見川区地域福祉計画策定委員会

日 時 平成16年7月24日(土)

14:00~16:00

場 所 花見川区役所 2階講堂

次 第

1 開会

2 区長挨拶

3 委員自己紹介

4 議題

(1) 会議の公開について

(2) 各地区フォーラムの取組状況について

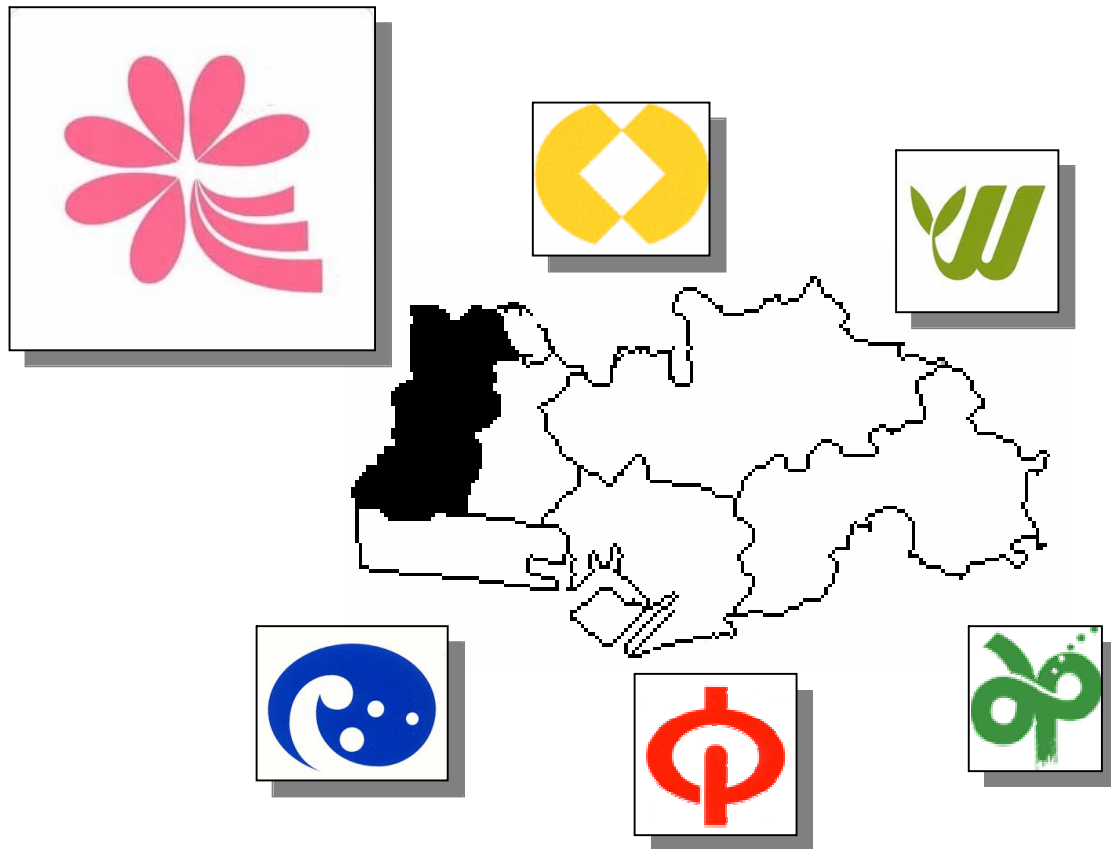
(3) 委員長、副委員長の選任について

(4) その他

5 閉会

花見川区地域福祉計画

各地区フォーラムの取組状況



平成16年7月24日

キーワード(生活課題)一覧表

フォーラム	グループ	1	2	3	4	5	6	7	8
犢橋・206・こてはし台地区フォーラム	A	交流・社会との隔絶・居場所・社会参加	バリアフリー・福祉施設の充実・交通・安全	こころのバリアフリー・心の健康・社会道徳の欠如・しつけ・交通安全	-	-	-	-	-
	B	身近な生活支援・自立支援・ボランティア・NP活動	情報・相談・声なき要支援者の発見・経済的支援	身体の健康・保健	サービスのネットワーク化・サービスの質の向上	-	-	-	-
検見川・花園・朝日ヶ丘地区フォーラム	A	交流・居場所	身近な生活支援	社会参加・自立支援	情報・相談	虐待	サービスのネットワーク化	在宅ケア	心の健康
	B	安全・防犯	緊急時の支援・防災	こころのバリアフリー・福祉教育	バリアフリー	就労	教育	身体の健康	-
幕張・武石地区フォーラム	A	交流・居場所・社会参加	身近な生活支援・エンパワメント・安全・見守り・虐待	ボランティア・人材の活用	在宅ケア	身体の健康・環境問題(大気汚染や自然環境)	-	-	-
	B	情報・相談・声なき要支援者の発見	バリアフリー・交通	こころのバリアフリー・福祉教育	福祉サービス・社会制度・経済的支援	サービスのネットワーク化	-	-	-
花見川地区フォーラム	A	居場所・交流・社会参加・意識改革・自立支援	声なき要支援者の発見・虐待・声かけ	バリアフリー・交通	身体の健康・心の健康	施設	就労	生きがいづくり	-
	B	福祉教育	経済的支援	サービスの質の向上	人材育成・人材の活用・人材の確保・ボランティア活動	緊急時の支援・防災・安全	情報・情報の共有・啓発	-	-

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
犢橋・206・こてはし台	交流・社会との隔絶・居場所・社会参加	高齢者	ふれあい食事が利用しづらい	独居老人等の対象者が健康であれば、食事場所まで出向くことができるが、体調不良、遠距離等で出向くことが容易でない。集まって食事することがふれあいというがそうとは思わない。実施者側では人集めに困りながら実施している。	1
			老人クラブがなくなってしまった。	老人クラブがなくなってしまった。	2
			老人ホームに入るとそのまま社会と隔絶されないか。	老人ホーム入所者との日常的交流が少ない。	3
			世界で一番『安心な国』といわれる日本。その土台を作ってくださった高齢者の方々、胸を張って頑固さを取り戻してください。	家庭に居場所がなく、遠慮しながら暮らすお年寄りがいる。そのような方々が地域で集える場所が少ない。	4
			老人クラブへの入会が減っている。	老人クラブへの入会が減っている。	5
		障害者	障害者間の連携がない	例えば、目、耳、身体の障害を持っている人達（団体）間の連携(助け合い)が少なく、個別に活動をしがちであり、費用が有効に使われていない。	6
		児童	仲間づくりがしづらい	少子化の中で、遊び場の確保も大切だが、遊ぶ方法や仲間づくりの方法が少ない。子どもの親自身も少子化の時代に育っており、どうしたらいいかわからないものと思われる。	7
			子ども達が昔の遊びや集団で遊ぶことの楽しさを知らない	こま回しやお手玉等、伝承的な遊びを知らず、1人または少人数で、家の中でゲームソフト等で遊ぶことが多い。	8
		その他	しばらくの間家を留守にすると、ペットの世話やプランターの水やりができない	3週間くらいの間、家を留守にするとき、犬のエサやりと散歩、プランターの水やりをしてほしい。家族は帰宅が遅く、土日以外はできない。	9
			昔近所のお年寄りが立派な民生委員でした。	昔は地域のお年寄りが、民生委員の役割を担い地域を温かく見守っていたが、今はそのような人は少なく、近所づきあいが少なくなっている。	10
			世代を超えた人的交流	世代を超えた人的交流がない。	11

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
犢橋・206・こてはし台	バリアフリー・福祉施設の充実・交通・安全	高齢者	道路の整備ができていない。	道路全体の幅の広さに関わりなく、ガードレールやマウンドアップ（歩道を車道より一段高くする）等の車道との区別がない道路が多い。また、凸凹や傾斜もあり、特に車椅子を使用する高齢者の生活に支障をきたしている。	12
			設備のよい「老人つどいの家」がほしい。	洋式トイレ、エアコン完備など高齢者に利用しやすい施設になっていない。（老人つどいの家）	13
			団地、個人住宅に関わらず、足腰が弱り外出しづらい	コミュニティバスの路線が少なく、近くを走っていないため、外出しづらい。	14
			福祉施設への交通が不便	いきいきプラザ等せっかく良い施設があっても、交通機関の関係で利用しづらくなっている。（シャトルバスなどの対策をして欲しい）	15
			高齢者は、通院に大変苦労している。	高齢者が通院時に付き添いを依頼したくても、依頼の方法が分からない。	16
		障害者	公民館のバリアフリー化が進んでいない	当地区の公民館（こてはし台公民館、犢橋公民館等）は大変古く、バリアフリーになっていないため、障害者や高齢者には使いづらい。	17
			身体に障害のある人が外出しづらい街	街がバリアフリーではないため、障害者が外出しづらい。	18
		児童	通学路の安全が確保されていない。	通学路の安全が確保されていない。特に道路が狭い箇所は、非常に危険である。	19
		その他	歩道の歩幅が狭い	高齢者の手押し車での歩行や子どもの歩行の安全性が確保されていない。また、歩道があってもでこぼこで傾斜した道が多い。	20
			宇那谷町は陸の孤島	宇那谷町は交通が不便である上、各種施設も最寄りにならない。	21
			外出の際独立で移動できず、家族の送迎がない場合に困難が生じる。	外出する際、独力で移動できず、家族の送迎もない場合に困難が生じる。	22

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
犢橋・ 206・ こてはし台	こころのバリアフリー・心の健康・社会 道徳の欠如・しつけ・交通安全	高齢者	家庭の事情や、体の不自由等から閉じこもる高齢者が多い	自由に外出できる手段（応援）がない。	23
			地域の公園は高齢者の利用が少ない。	児童、若者、子育て中のお母さん達が公園のよい場所を占有し、高齢者は片隅のベンチで1人、2人と遠慮がちに休んでいる。高齢者がのんびりと好きな場所で休めなくなっている。	24
		障害者	障害者の本当の不便や希望が理解されない	障害者一人ひとりの個性や、障害の苦しみや不便さとはどういうものなのかが理解されていない。	25
			『あたりまえよ!!』の考えをもう少しソフトに	障害者であることで、過度の権利を主張する（感謝の気持ちに欠ける言動を持つ）方がいる。	26
			障害者に対する理解が進んでいない	知的障害者施設建設の際、地域の反対運動があり、大変驚かされた。そのときの反対住民の発言から、知的障害者や精神障害者への理解が進んでいないことを痛感した。	27
			豊かすぎる社会の中での心のまずしさ ・学用品の無駄使い ・何でもある食物、分かち合う喜びを知らず、ありがたさにも欠ける。	豊か過ぎる社会の中で、物の大切さやありがたさ、人の心の痛みが分からない子どもが多い。また、譲るという行為ができる子どもが少ない。	28
		児童	甘えの中で育ったその両親を持ち、自由をはきちがえている子供達	子どもよりマナーの悪い若い親たちがいる。その両親に育てられる子どもたちが心配である。（マナーの欠如）	29
			公園の利用の仕方に問題がある場合がある	子どもの遊び場が少ないといわれているのに公園内をペットの運動に使用する人が多い。	30
			社会的ルールの未定着	子どもたちに社会的ルールが定着していない。	31
			生徒への交通安全指導	児童・生徒への交通安全指導が徹底されていない。	32

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
檜橋・206・こてはし台	身近な生活支援・自立支援・ボランティア・NPO活動	高齢者	病弱で介護保険を利用できない人がゴミ出しなどで困っている	病弱で介護保険を利用できない人がゴミ出しなどで困っている	33
			病弱な独居高齢者は、日常生活上の不安や不便が多い。	病弱な独居高齢者は、日常生活上の不安や不便が多い。(緊急入院した場合に衣類を持ってきてくれる人がいない)	34
			一人住まいの高齢者を手助けしてくれる人がいない。	一人住まいの高齢者を手助けしてくれる人がいない。	35
			高齢者は、通院に大変苦労している。	高齢者が通院時に付き添いを依頼したくても、依頼の方法が分からない。	36
			独居高齢者や高齢者のみの世帯は日常生活に不安を感じている。	独居高齢者や高齢者のみの世帯は、日常生活に不安を感じている。	37
			要介護状態にある高齢者世帯のゴミ出しや、郵便・宅配便の受け取りが困難	要介護状態にある高齢者世帯では、のゴミ出しや、郵便・宅配便の受け取りが困難である。	38
		犬の散歩、草むしり、大掃除等介護保険対象外のサービスが受けづらい。	介護保険を利用している人もそうでない人も、犬の散歩、草むしり等の介護保険対象外のサービスが受けづらい。	39	
		高齢者	老人クラブがなくなってしまった。	老人クラブがなくなってしまった。	40
			老人ホームに入るとそのまま社会と隔絶されないか。	老人ホーム入所者との日常的交流が少ない。	41
		障害者	障害者の外出時に付き添うボランティアの不足	青年期等の障害者と同年代のお出かけボランティアが少ない。	42

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
犢橋・206・こてはし台	情報・相談・声なき要支援者の発見・経済的支援	高齢者	独居高齢者や高齢者のみの世帯は日常生活に不安を感じている。	独居高齢者や高齢者のみの世帯は、日常生活に不安を感じている。	43
			要介護状態にある高齢者世帯のゴミ出しや、郵便・宅配便の受け取りが困難	要介護状態にある高齢者世帯では、のゴミ出しや、郵便・宅配便の受け取りが困難である。	44
			犬の散歩、草むしり、大掃除等介護保険対象外のサービスが受けづらい。	介護保険を利用している人もそうでない人も、犬の散歩、草むしり等の介護保険対象外のサービスが受けづらい。	45
		児童	共働きだと子どもが塾やおけいごごとに時間を守ってでかけるか不安。また、保育園の迎え時間に行けないことがあ	学童ルームを嫌がり、学校から直接家に帰っている子どもを、塾やおけいごとを送り出してほしい。また、残業等で保育園にいつもの時間に迎えに行けないとき、代わりに迎えに行って子どもを見てほしいが、どこに頼めばいいかわからない。	46
			学校を休みがちの児童・生徒の対応が適切になされていない。	学校を休みがちの児童・生徒への対応が適切になされていない。	47
			しばらくの間家を留守にすると、ペットの世話やプランターの水やりができない	3週間くらいの間、家を留守にするとき、犬のエサやりと散歩、プランターの水やりをしてほしい。家族は帰宅が遅く、土日以外はできない。	48
	その他	夫の介護で自分もひざが痛くなり、犬の散歩がつらい	夫の介護をしているが、自分もひざが痛くなってきたので、犬の散歩を週2回くらいやってほしいが、どこに頼めばいいかわからない。	49	
		生活保護を受けている家庭や母子家庭の悩みや相談を聞いてもらえる機会が少ない	親戚や近所の人等に話づらいことは民生委員に聞いてもらうことになるが、民生委員でも人柄や積極性等が人によって異なり、素直に話せないときがある。	50	
		市実施の高齢者基本健康診査の協力医療機関が少ない。	近所に協力医療機関がない場合や市外にかかりつけ医がある場合に不便である。(後々のケアの問題もあるのでかかりつけ医で健診を受けたい)	51	
	身体の健康・保健	高齢者	健康への無関心	子どもの健康に関心が払われていない。	52

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
犢橋・ 206・ こてはし台	サービスの ネットワーク 化・サービスの 質の向上	高齢者	一人住まいの高齢者を手助けしてくれる人がいない。	一人住まいの高齢者を手助けしてくれる人がいない。	53
			高齢者は、通院に大変苦労している。	高齢者が通院時に付き添いを依頼したくても、依頼の方法が分からない。	54
			ふれあい食事が利用しづらい	独居老人等の対象者が健康であれば、食事場所まで出向くことができるが、体調不良、遠距離等で出向くことが容易でない。集まって食事することがふれあいというがそうとは思わない。実施者側では人集めに困りながら実施している。	55
		障害者	障害があってあまり外出できない人は、地域の人達との交流が少なく、孤独な生活になりがちである	地域の人達とコミュニケーションを図り、連帯感を保ちたいと思っても、相談に乗ってくれる人が少なく、地域の人達との交流が少ない。	56
			福祉事務所の窓口対応の不備	福祉事務所の窓口対応が不十分であるために、1回の来所では手続きが終わらないことがある。	57
		児童	学校を休みがちの児童・生徒の対応が適切になされていない。	学校を休みがちの児童・生徒への対応が適切になされていない。	58
		その他	社会福祉施設間の連携がない	当地区には、社会福祉法人が運営する高齢者施設や障害者施設、児童施設等があるが、法人間・施設間の連携がなく、法人・施設が地域の福祉力を高めていくという役割を担っていない。	59

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
検見川・花園・朝日ヶ丘	交流・居場所	高齢者	このあたりの高齢者は大凡娘と住んでいる方が多く、地区福祉組織の催しに参加する方が少ない。	行事に参加する世帯が少なく、交流が不足しているため、家族構成等を把握しにくい。	1
			独居の高齢者や転居したばかりの高齢者が地域になじみにくい。	近所同士での挨拶の習慣さえ失われている。隣近所などとの交流が不足している。	2
			夫婦二人で生活しているが近隣に友達もなく、特に趣味もなく話し相手がいなくつまらない。	老夫婦で住んでいるが、自治会に老人会もなく(自治)会館もなく気軽に集まる場所もない。とにかく、夫婦以外の話し相手がほしい。	3
			ふれあい・いきいきサロンの更なる充実	8000世帯で5サロンしかなく、高齢者の集う場が少ない。もっとサロンを充実させたい。	4
			少地域でのグループホーム(ふれあいサロン等)立ち上げ方。	自治会と民生委員とが活動する場合、共通理解を持つことが困難である。片方がやれば片方が傍観者になってしまうことが多い。	5
		障害者	障害者施設の閉鎖方向の中で、入所者やその親たちに動揺が広がっている。	障害者施設「畑通勤寮」「畑ホーム」が閉鎖の方向の中で、入所者やその親たちに「いつまで居られるのか」「その後退所して何処に行けばいいのか」「入れるアパートやグループホームはあるのか」「退所し新しい居住先から通勤が出来るか」等の不安が広がっている。	6
			知的障害者の通う場所がかなり不足している。	知的障害者の通う場所が不足している。(他区に比べても施設が少ない。)デイサービスがあっても通うところが日替わりになってしまう。	7
			地域で暮らしている障害者の暮らしが見えない。ニーズがわからない。	教育の問題につながるかもしれないが、例えば障害児はバスで遠くの学校に通っているため、近所の人には「あぁ遠くまでかよっているんだなぁ」という認識だけである。どのように声かけていいのかも分からない。	8
		児童	児童の公園 幼児・幼稚園児、小学生、中学生と時間ごとに利用時間が決まっている。	花見川地区は公園に恵まれ、利用も年代別、男女別にうまく使用されている。一方で世代間の交流が少ないようである。	9
			子どもルームの環境が整っていない。	子どもルーム利用希望者が多いが、運営形態が非効率的でルーム数も少ない。	10
			子どもの安全な遊び場が不足している。	球技が出来る広場、空地が不足している。(遊具はいらぬ)	11

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No	
検見川・花園・朝日ヶ丘	交流・居場所	その他	違う地域性をあいまいにしたままにならないように論議すべきである。	地域性が違うのに、行政が同じような形で入るのはどうか。会費等（例えば、赤い羽根の募金）の自由意志に任せたほうが多く集まる場所もある。至る所に縦割り行政の弊害がある。公民館は飲食できないのに、コミュニティは大丈夫というのもおかしい。	12	
			自治会館がない。	会館がないため施設の会議室を借用しているが、その施設が近々閉鎖となることが発表され不便している。	13	
			障害者が利用できる図書館	高齢者、障害者が利用しやすい施設（図書館など）が近くになく、居場所がない。	14	
	身近な生活支援	高齢者	高齢者で持ち家があっても、現金収入の少ない人への配慮	持ち家があっても、現金収入の少ない高齢者の生活を安定させる制度が不十分である。	15	
			一人暮らし高齢者への対応	高層階に住んでいる高齢者は日常生活の色々な場面で困っている。（新聞をおろす、灯油を運ぶ等）	16	
			高齢化に伴い、足腰が弱くなったり、病気がちで外出が困難な世帯が多くなった。	駅、バス停、公民館、商店街までに大きな坂があり、外出を控えがちになってしまふ。	17	
			高齢者が日常生活に不便を感じている。	地域の商店街がさびれ、遠くまでの買物を余儀なくされている。	18	
			団地住まいの人の日常生活で困ったり、不便を感じている。	独居老人で耳が遠くなり、ベルを押しても返事がなくドア一つのため、いるのか、いないのかわからず心配な人がいる。	19	
			子供も近隣に住んでいなく体が弱る中で日常生活に支障が出る。	独居高齢者で、何とか自分の身の回りのことをやっているが、買物・預金の引出・庭木の水遣り・家周囲の清掃・ゴミ捨て・病院送迎・緊急時の連絡対応などは、これから十分にできなくなってくる。	20	
			地域内に知的障害者の為のボランティアの拠点が少ない。	子どもでいえば児童館のような、支援センターがあればよい。地区の人がわかってない人では困る。「その問題はあの人に頼めばよい。」と教えてくれるようなところが少ない。	21	
			母子家庭（父子家庭）への取組	相談を受ける者に評論家が多い。危険な世相になっている。地域の身近に相談できる人が必要である。	22	
			その他	クリーンディについて	高齢になると、1年に2回の溝掃除や草取りなどができなくなってくる。	23

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No	
検見川・花園・朝日ヶ丘	社会参加・自立支援	高齢者	敬老会がだんだん少なくなっている。	高齢化社会の中で、敬老会は良い情報交換の場になるはずなのに少ない。老人クラブの育成が必要である。	24	
			色々な話を聞いてほしいと思っている高齢者が多い。	閉じこもりの回避につながる。	25	
		障害者	市内37ヶ所あるワークホーム(つばさ)の将来	親たちで運営してきた7年経過した。親の高齢化に伴い、これからの施設運営が心配である。	26	
			精神障害者には、引きこもりや外に出かけることが難しい障害者も大勢いるが、ケアの対象になっていない。	ケアを受ける場合、本人が通えることが条件。通えない人はケアが受けられない。	27	
			障害者の賃貸アパートへの入居がなかなか出来ない。	脱施設の入所者が街で暮らすに際して、賃貸アパートへの入居がなかなかできない問題がある。	28	
		その他	違う地域性をあいまいにしたままにならないように論議すべきである。	地域性が違うのに、行政が同じような形で入るのはどうか。会費等(例えば、赤い羽根の募金)の自由意志に任せたほうが多く集まる場所もある。至る所に縦割り行政の弊害がある。	29	
		情報・相談	高齢者	パソコン操作	高齢者もパソコンを使うことが不可欠であるが地域に気軽に相談できるような所がない。	30
				介護の施設が種々あるが、それぞれの機能がわかりにくい。	介護保険法に基づく施設の種別が多く、情報も少ないため理解できない。	31
				独居の方のサポート	独居の方で、周囲のサポートに対して、受入を容易にしないプライドを持つ高齢者がいる。	32
	閉じこもりの高齢者が未だにいる。			これからも閉じこもる傾向の高齢者は増える。	33	
	将来、友達と一緒に住むためにホームを建てたい。市からの補助や建設に当たっての法律家関係が知りたい。			高齢者施設に入らずに、気の合う友達と出資してホームを立て、グループホームで住みたい。市の補助や建築に当たっての近隣との同意や届出等の法律関係のアドバイスが欲しい。	34	

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No	
検見川・花園・朝日ヶ丘	虐待	児童	幼児への虐待がある。	近所で今日も、決まった時間に親が子を折檻する声と子の泣き声が聞こえてくる。折檻を乗り越えて身体的虐待に及んでいるように思える。	35	
			育児放棄(ネグレクト)	子育てをする中で、育児放棄(ネグレクト)をする親が増えている。	36	
	サービスのネットワーク化	高齢者	少地域でのグループホーム(ふれあいサロン等)立ち上げ方。	自治会と民生委員とが活動する場合、共通理解を持つことが困難である。片方がやれば片方が傍観者になってしまうことが多い。	37	
		児童	子育ての取組の連携に工夫が必要である。	連携がうまくいかないためである。「どこどこで何をしています。」というご披露だけではいけない。地域の連携が必要である。	38	
	在宅ケア	高齢者	痴呆老人をかかえ、24時間気の休まる時がない。	自分の思い通りならないと暴力を振るう痴呆老人を抱え、夜中の徘徊、外出、風呂場や寝室への無断侵入に閉口している。	39	
	心の健康	児童	挨拶が出来ない児童が多い。	以前は良く挨拶のできていた児童が、最近挨拶ができなくなっている。	40	
	安全・防犯	障害者	道路上の障害物を撤去する。(放置自転車、違法駐車、プランターなど)	道路上に障害物(放置自転車、違法駐車、プランターなど)があり、危険である。	41	
			子どもの安全な遊び場が不足している。	球技が出来る広場、空地が不足している。(遊具はいらない)	42	
			児童の下校時の安全点検について(主に連れ去られの防止)	最近多発している「連れ去られ」など、児童の登下校時の安全が脅かされている。	43	
			児童の安全な遊び場通学路について	昨年団地の中で小学生が朝の登校時に殴打事件にあった。地域全体でパトロールする計画が出ている。一部の方々がパトロールをしているが子どもが遊んでいる数が少ないとのこと。児童の安全な遊び場が少ない。	44	
			その他	歩道に自転車、バイクを終日、駐車。歩行者が大変歩きにくく迷惑している。	駅前に多くの自転車・バイクが駐車されて歩きにくく、迷惑している。	45
				空き巣の泥棒が増えている。	近所で買物に出た際に、空き巣に入られて金品を盗られるなど、泥棒が増えている。	46

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
検見川・花園・朝日ヶ丘	緊急時の支援・防災	高齢者	高齢者が不安を抱えている(緊急時)	災害、急病の時どうするのか、具体的方策がない。	47
		障害者	在宅の障害者の緊急時の一時預かり	親の急病時等に一時的に預かってもらえる施設がない。	48
			知的障害者の保護者に緊急事態が発生した場合、預ける施設(宿泊I)が皆無に等しい。	地区には知的障害者施設が少ない。脱施設の方角になっているが、最初から何もないのに脱施設になるのはおかしい。親が病気の時に、子連れでいけない。預けるところがない。入所施設がない。	49
			防災時の情報の周知	防災放送が聞こえにくい。(防災時の情報がわかりにくい。)	50
	こころのバリアフリー・福祉教育	高齢者	独居高齢者のメンタルヘルスサポートを必要としている人がいる。	伴侶をなくしたりして、1人暮らしの高齢者が生活面以外のところのサポートを必要とする人がいる。	51
		障害者	精神障害者の実情が理解されず。地域に受け入れられにくい。	傷害事件などが起こると、すべての精神障害者が危険視されがちである。社会復帰施設の設置が難しい。医師による治療や退院後のケアから取り残された人のフォローがない。	52
		児童	教育の視点が欠けている。	地域連帯感を持った福祉の構想を描くためには、教育の視点を欠かすことはできない。	53
	バリアフリー	障害者	公営プールの解放(介護者なしでも利用できるように)	介護者なしで利用できるように、利用の条件を緩和してほしい。	54
			車椅子の身体障害者は、道が狭く段差が多くあるため走行に不便を感じている。	畑町地域には、極端に歩道が狭く段差も多いところがあり、猛スピードで走る車に身の危険を感じながらやっと車椅子で移動している。	55
	就労	障害者	身体障害者または知的障害者などの雇用がなかなか進まない。	法に基づく障害者雇用率がなかなか達成されず、障害者雇用が進んでいない。	56
			精神障害者の就労の場がほとんどない。	退院して、状態よく生活のリズムができると就労意欲が出てくる。病状安定しても波があるので、一般就労は断られる。病状を隠すとストレスがたまる。就労できても病状が悪くなるとサボっていると思われる。	57

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
検見川・花園・朝日ヶ丘	教育	障害者	障害児の通学が、本人・保護者に大きな負担となっている。	障害児の通学は、近くの学校に通う児童に比べ、1時間余分な時間を費やしているため、本人・保護者に大きな負担となっている。	58
	身体の健康	高齢者	高齢者の国民健康保健（老人保健加入者を除く）の保険給付の一部負担が高すぎる。	高齢者になって病院にかかる機会が多くなるが、医療費の一部負担金が高く、経済的な負担が大きい。	59

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
幕張・武石	交流・居場所・社会参加	高齢者	民間の集合施設の活用	住民が集まることができる施設がない。	1
			椅子のある道	シルバーカーを利用する高齢者を多く見かける。ちょっとした時に腰を掛けることのできる椅子が町並みにはほとんどない。	2
			高齢者の運動不足	運動不足の高齢者が多い。	3
		障害者	障害を持つ人たちの交流の場がない。	障害を持つ人たちの交流の場がない。 (気持ちを分かち合い、情報交換する機会がない。)	4
			地域社会でのイベントへの参加	障害を持っているということによって、地域社会への参加が閉ざされてしまっている。	5
			家族以外の人との行事等による交流	外出が少なく、家族以外の者と交流する機会が少ない障害者が多い。	6
		児童	こどもたちの遊び場が少ない。	人工的に作られた場所ではなく、こどもが自由に遊べる場所・空間がなくなってしまった。世代間の交流が少ない。他の地域の子供たちとの交流が少ない。	7
			障害を持つ子どもを受け入れる体制が不十分。	全ての保育所(園)・幼稚園での障害児の受け入れはできていない。	8
			児童の家族以外の地域住民との交流	児童と地域住民の交流の場がない。	9
			児童の安全な遊び場の確保。	児童が安心して遊べる場所がない。	10
			入園児前の親子の交流ができる場がない。	同じ年代の子を持つ親同士の交流・情報交換できる場がない。話をきいてくれる人がいなく、一人ぼっちになっている。	11
			子どもが自由にすごせる場所がない。	屋内の遊び場、スペースがない。	12
		その他	児童・高齢者・障害をもった人たちとの交流がない。	児童・高齢者・障害をもった人たちとの交流が不足している。	13
			世代交流の必要	地域における世代間の交流が少ない。	14
			高齢者・障害者の送迎問題	通院・買物等、自動車による送迎がないと生活できない。社会参加したくともできない。	15

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No	
幕張・武石	身近な生活支援・エンパワメント・安全・見守り・虐待	高齢者	病院・日常生活の外出等マイカーがないので、身近な生活支援をお願いしたい。	シティーバス廃止により、マイカーを持たない高齢者の移動手段がなくなり、生活に不便をきたしている。	16	
			緊急時の支援	独居老人世帯への緊急連絡の手段がない。	17	
			交通量が多い為、高齢者が安心して道路を横断出来ない。	交通量の増加により、高齢者の歩行、横断に危険が生じている。	18	
		障害者	休日・夜間の相談ができない。	休日・夜間も相談を受ける機関が少なく、十分に対応できていない。身近に相談できる場が少ない。	19	
			障害を持つ人たちの交流の場がない。	障害を持つ人たちの交流の場がない。 (気持ちを分かち合い、情報交換する機会がない。)	20	
		児童	交通規制が行われていない。	児童の登下校時に通学路の交通規制が行われていないため危険である。	21	
			児童の安全が脅かされている。	登下校時、放課後、休日等に子どもが痴漢等の被害にあうなど、子どもたちの安全が脅かされている。	22	
			家庭的な虐待	家庭の中で行われている虐待について、学校関係者等第三者が介入しづらい部分があるため、発見されづらい。	23	
		その他	道中で困った時、誰に助けを求めてよいかわからない。	社会参加しようとして困ったとき、安心して助けを求められる関係がない。	24	
			高齢者・障害者の送迎問題	通院・買物等、自動車による送迎がないと生活できない。社会参加したくともできない。	25	
			災害発生時の対応	災害発生時の障害者への支援体制が不十分なため、障害者の安全確保ができない。	26	
		ボランティア・人材の活用	高齢者	ボランティアの育成	日常生活をサポートするボランティアの組織化が遅れている。	27
				高齢者の役割を發揮する場が分からない。	定年退職した方などが地域活動に参加するきっかけの場がない。地域における役割を發揮する場が分からない。	28

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
幕張・武石	在宅ケア	障害者	精神障害者の親亡き後のケアについての心配	精神障害者を医療面で監督する者が、親以外にいないことが多いため、親亡き後のケアが不十分となっている。	29
		その他	リハビリ体制が不十分	近くにリハビリを行える場所が少ない。	30
	身体の健康・環境問題(大気汚染や自然環境)	高齢者	高齢者の運動不足。	運動不足の高齢者が多い。	31
		その他	排気ガスが周囲の大気を汚染している。健康がおびやかされている。	道路からの排気ガスが周辺の空気を汚染している。健康がおびやかされている。(心臓や肺などに障害がある者は自分の住む街を安心して歩くこともできない。)	32
	情報・相談・声なき要支援者の発見	高齢者	介護保険制度が分からない。	介護保険の制度についての理解が乏しいことで、介護保険のサービスを受けられないことが多い。	33
		障害者	福祉団体等へ加入していない人への情報提供	福祉団体に未加入の人は、受けられるサービスについての情報を知る機会に乏しい。	34
			サービスの情報がいきとどいていない。	近くにこんな施設やサービスがあることの情報地域住民に行き届いていない。当事者にも必要なサービスの情報が行き届いていない。	35
			障害を持つ人たちの交流の場がない。	障害を持つ人たちの交流の場がない。(気持ちを分かち合い、情報交換する機会がない。)	36
		児童	児童の安全を守るための為の情報が入ってこない。	児童の安全を脅かす事件の発生時、警察・自治体等からの情報提供がなく、児童の安全確保に困難が生じている。	37
			入園児前の親子の交流ができる場がない。	同じ年代の子を持つ親同士の交流・情報交換できる場がない。話をきいてくれる人がいなく、一人ぼっちになっている。	38
			父子家庭の相談機関が少ない。	父子家庭が相談できる場が少ない。	39
	その他	要支援者、サービス提供者、福祉に関心を持っている人などの出会う場所がない。	要支援者、サービス提供者、福祉に関心を持っている人などの出会う場所がない。(ニーズの発掘、マンパワー育成の促進、共感、情報交換、問題意識の共有化等の機会を逃している。)	40	
		妊婦や出産したばかりの母親の相談窓口がなく不安を感じている。	妊婦や出産後の母親の相談に応じられる機関が少ない。	41	

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No	
幕張・武石	バリアフリー・交通	高齢者	駅，公民館など階段の上り下りが不便（危険）	高齢者は階段の昇降が困難なことが多く，そのために地域活動への参加が難しくなる。	42	
			交通量が多い為，高齢者が安心して道路を横断出来ない。	交通量の増加により，高齢者の歩行，横断に危険が生じている。	43	
			病院・日常生活の外出等マイカーがないので，身近な生活支援をお願いしたい。	シティーバス廃止により，マイカーを持たない高齢者の移動手段がなくなり，生活に不便をきたしている。	44	
		障害者	公共施設のバリアフリーの推進	J R幕張駅，京成幕張駅，幕張公民館では階段以外に昇降できないため，身体的弱者が利用・通行できない。	45	
			障害者のトイレをもっと使いやすくして欲しい。	障害者用トイレを利用する際，主に肢体不自由児等おむつを使用している人達にとって，折りたたみベット，ソファ，長椅子のある設備が整った場所が少ない。	46	
		児童	交通規制が行われていない。	児童の登下校時に通学路の交通規制が行われていないため危険である。	47	
		その他	市道整備が遅れている。	車道と歩道に段差がある。そもそも歩道の整備ができていない。	48	
			駅にエレベーターがない。歩道が狭い。	段差があり，歩道が狭く，車椅子で駅まで行くことが大変である。階段を昇ることができない人は駅を利用できない。	49	
			集合住宅の住宅改修について	団地・マンション等集合住宅の場合，各玄関（ドア）から道路までの手すり，段差等に介護保険の住宅改修費が利用できない。	50	
			高齢者・障害者の送迎問題	通院・買物等，自動車による送迎がないと生活できない。社会参加したくともできない。	51	
		こころのバリアフリー・福祉教育	障害者	病気や障害をOPENにして安心して地域で暮らせない。	病気や障害に関する知識や情報が少ないため，地域の方々に障害者理解がなかなか進まない。	52
			児童	マナーの教育	登下校の際道路いっぱいに広がって歩くなど，児童のマナーが欠けている。小中学校の時のしつけ教育に問題がある。	53
				児童に奉仕精神が欠けている。	恵まれた環境で育ってきた子ども達に，他の人の役に立とうという心が欠けている。	54
			その他	バリアフリー施設の主旨徹底	たとえば点字ブロックの上に自転車が不法駐輪している。シルバーシート以外では席を譲らなくてもよいと考えている。（バリアフリー化への周囲の理解不足）	55

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
幕張・武石	福祉サービス・社会制度・経済的支援	高齢者	ほとんど独居状態の老人に対する生活支援	独居でなく、家族・親族が居るがほとんど独居状態（介護放棄）の場合の支援体制が不十分である。	56
		児童	障害を持つ子どもを受け入れる体制が不十分。	全ての保育所（園）・幼稚園での障害児の受け入れはできていない。	57
			ファミリーサポートセンターの料金設定の見直し	子育て支援の制度があっても、十分にいかされていない。（低所得者には利用が困難な場合がある。）	58
		その他	サービスを必要な人がサービスを受けられず、一方で必要度の低い人がサービスを受けられるという矛盾がある。（支援費制度）	真にサービスを必要としている人が必ずしもサービスを受けられていない。	59
			集合住宅の住宅改修について	団地・マンション等集合住宅の場合、各玄関（ドア）から道路までの手すり、段差等に介護保険の住宅改修費が利用できない。	60
	サービスのネットワーク化	その他	要支援者、サービス提供者、福祉に関心を持っている人などの出会う場所がない。	要支援者、サービス提供者、福祉に関心を持っている人などの出会う場所がない。（ニーズの発掘，マンパワー育成の促進，共感，情報交換，問題意識の共有化等の機会を逃している。）	61

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
花見川	居場所・交流・社会参加・意識改革・自立支援	高齢者	高齢者のいこいの場	昼間から商店街のベンチでアルコールを飲んでいる人がいて、買い物客から苦情がでているので、健全に過ごせる憩いの場が欲しい。(健全に過ごせる憩いの場がない。)	1
			高齢者が戸外で活動しやすい環境整備(歩道整備、公園整備、バリアフリー化)が遅れている。	道路に歩道がなく、安心して歩行が出来ない。また、戸外で休息をとる場所(公園など)がないなど、歩道、公園のバリアフリー化が遅れている。	2
			ふれあいサロン(小さなグループ)	引きこもりがなくなるよう、近所に気軽に集える場所がない。	3
			定年などで職場を退職された高齢者の生きがい	昼間から商店街のベンチ等で酒を飲んでいる高齢者(おそらく、健康で仕事があったくても職がない方々)をよく見かける。また、高齢者の会に入れずに(入らずに)いる人も多い。	4
			孤独死防止	独居老人の孤独死が発生している。	5
		障害者	知的障害者が日中通える場所を作って下さい。	花見川区内には知的障害者の通所施設がなく、日中通える場所がないので、デイサービスや短期入所を利用しながら通所施設の空きを待っている状態である。	6
			知的障害者の生活ホーム、グループホームを充実させて下さい。	地域に知的障害者の生活ホーム、グループホームが充実されていない。	7
			聴覚障害者で高齢者が集まって交流出来る場がない。	聴覚障害を持つ高齢者が集まって交流できる場所がない。	8
			障害者がゴミ捨てのルールを守らずトラブルを起こす	障害者、外国人等がゴミ捨てのルールを守らず、よくトラブルを起こしている。	9
			家族会の問題 経済的不安(見通し)	家族会として活動し、ようやく施設建設にこぎつけたが、補助金を受けても実際には経済的には不足の状態である。就労先も少しずつ見つけ始めているが、会員家族も高齢であり、将来の見通しがなく不安である。	10

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No	
花見川	居場所・交流・社会参加・意識改革・自立支援	児童	遊び場	幼稚園、保育所等に入っていない子どもたちの安心して遊べる場所がない。	11	
			中学生以上の遊び場	バンドの練習やスポーツのチームづくりなど、中学生以上が集団で遊べる場所がない。	12	
			小動物飼育の場所	公団住宅では動物の飼育が禁止されているため、小動物に親しむ場所がない。	13	
			児童文庫など集団で遊べる場	かつては、子ども会、児童文庫などが盛んに活動していたが、今は「地域」での子どもの居場所がない。	14	
			児童が安心して安全に遊べる場所が少ない。	子どもにとって安全な遊び場が少ない。	15	
		その他	道路整備が遅れている。	歩行者用の道路が狭く、また、場所により道路が無かったり、段差があったりと、車椅子利用者や高齢者にとって危険である。	16	
			車椅子（フォークダンス・社交ダンス等）普及を目的とし、ボランティア活動	車椅子利用者のフォークダンス・社交ダンス等が普及されていない。またボランティア活動もまだまだ普及されていない。	17	
			区役所はじめ公共の施設に行くのに不便を感じている	交通が不便で、しかも交通費が高く、公共施設を利用しにくい。	18	
			支援者のバックアップが欲しい。	ボランティアや専門家等の支援者の情報が不足しており、相談する窓口がわからない。	19	
			声なき要支援者の発見・虐待・声かけ	高齢者	ひりこもりをなくす	地域には、敬老会・ふれあい興行・食事会などの取組みがあるが、参加者はいつも同じメンバーである。家に引きこもっている高齢者が心配である。
		真に支援が必要な高齢者が支援されず放置されている。	真に支援が必要な高齢者の多くは引きこもりがちで放置されている。		21	
		独居老人対策	独居老人が孤独死しないような対策として民生委員が中心となって活動しているが、末端まで手が届いていない。		22	

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
花見川	声なき要支援者の発見・虐待・声かけ	高齢者	高齢者情報システム化	独居老人や高齢世帯を支援する情報システムを自治会組織として確立したい。	23
			ふれあいサロン(小さなグループ)	引きこもりがなくなるよう、近所に気軽に集える場所がない。	24
			孤独死防止	独居老人の孤独死が発生している。	25
		障害者	プライバシー関係情報入手できず	支援活動を行いたいが、プライバシー保護の理由で、必要な情報を入手できない。	26
		児童	児童虐待対策	自治会では福祉及び安全ネットワークが組織されており、児童虐待の防止に期待が持てるが、その組織の存在が十分に周知されていない。	27
			不登校児童予防対策	児童が不登校になる場合、家庭にも問題がある場合が多い。早い時期からの対応はできないか。	28
	バリアフリー・交通	高齢者	高齢者が戸外で活動しやすい環境整備(歩道整備、公園整備、バリアフリー化)が遅れている。	道路に歩道がなく、安心して歩行が出来ない。また、戸外で休息をとる場所(公園など)がないなど、歩道、公園のバリアフリー化が遅れている。	29
			障害者	無人駅では聴覚障害者にサービス出来ない。	災害発生時、無人駅ではマイク音声での対応なので、聴覚障害者にとっては危険にさらされる不安がある。
		その他	道路整備が遅れている。	歩行者用の道路が狭く、また、場所により道路が無かったり、段差があったりと、車椅子利用者や高齢者にとって危険である。	31
			公共交通対策	交通の便が悪く、公共交通システムが整備されていない。	32
			区役所はじめ公共の施設に行くのに不便を感じている	交通が不便で、しかも交通費が高く、公共施設を利用しにくい。	33
		身体の健康・心の健康	高齢者	体力づくり	健康維持に関心を持つ高齢者は多いが、日常的にストレッチの指導を受けたり健康器具を使用できる場所がない。
食事づくり	高齢者に向けた食事づくり、レシピの提供だけでなく、実技も含めてみんなで楽しく調理できる場所がない。			35	
孤独死防止	独居老人の孤独死が発生している。			36	

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
花見川	施設	高齢者	短期入所施設が不足している。	介護保険上の短期入所施設が不足しており、利用希望時に利用できない。	37
			老人ホーム	低額で入所できる老人ホームがない。	38
		障害者	知的障害者の生活ホーム、グループホームを充実させて下さい。	地域に知的障害者の生活ホーム、グループホームが充実されていない。	39
		児童	ナマの文化の体験	テレビやゲームに熱中する子どもが多いが、生のコンサートや演劇など、文化・芸能に接する機会が少ない。	40
		その他	区役所出張所を近くに	区役所に行くのに交通の便が悪い。近くに出張所がない。	41
	就労	障害者	精神障害者が働く場所がない	精神障害者は法定雇用率に算入されないため、雇用の機会がない	42
			家族会の問題 経済的不安(見通し)	家族会として活動し、ようやく施設建設にこぎつけたが、補助金を受けても実際には経済的には不足の状態である。就労先も少しずつ見つけ始めているが、会員家族も高齢であり、将来の見通しがなく不安である。	43
	生きがいづくり	高齢者	生きがいづくり(自転車修理など人に役立つもの)	定年などで仕事がない人が最近増えている。地域で生きがいを持てる活動(自転車修理、花づくりなど)の場が少ない。	44
	福祉教育	障害者	施設職員が手話がわからない。	施設に手話ができる職員がいない。	45
	経済的支援	高齢者	老人ホーム	低額で入所できる老人ホームがない。	46
		障害者	家族会の問題 経済的不安(見通し)	家族会として活動し、ようやく施設建設にこぎつけたが、補助金を受けても実際には経済的には不足の状態である。就労先も少しずつ見つけ始めているが、会員家族も高齢であり、将来の見通しがなく不安である。	47
	サービスの質の向上	高齢者	緊急通報装置等の給付を受けたいが所得証明書や手続きが面倒	福祉サービスを受けたいが、申請手続きや必要な書類が多く面倒なため、サービスを受けられない。	48
		障害者	利用者と事業者の関係	支援費制度の導入とともに介護保険事業者が多く参入してきたが、質の向上が図られていない。	49

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No	
花見川	人材育成・人材の活用・人材の確保・ボランティア活動	高齢者	ボランティア活動中の事故の責任	配食サービスの会食会に行きたいが、歩行が困難になったので、ボランティアに車での送迎を頼みたい。しかし、ボランティアには事故時の責任が取れないので、やりたがらない。	50	
		障害者	施設職員が手話がわからない。	施設に手話ができる職員がいない。	51	
			利用者と事業者の関係	支援費制度の導入とともに介護保険事業者が多く参入してきたが、質の向上が図られていない。	52	
		児童	児童文庫など集団で遊べる場	かつては、子ども会、児童文庫などが盛んに活動していたが、今は「地域」での子どもの居場所がない。	53	
			子育て支援のシステムがあっても協力者が少ない。	子育て支援のシステム（ファミリーサポートセンター）があっても、協力者（提供会員）が少ない。	54	
		その他	支援者のバックアップが欲しい。	ボランティアや専門家等の支援者の情報が不足しており、相談する窓口がわからない。	55	
			ボランティア活動できる若い人が昼間いない。	ボランティア活動できる若い人が昼間地域にいない。	56	
			車椅子（フォークダンス・社交ダンス等）普及を目的とし、ボランティア活動	車椅子利用者のフォークダンス・社交ダンス等が普及されていない。またボランティア活動もまだまだ普及されていない。	57	
		緊急時の支援・防災・安全	高齢者	災害時の救援マップを作成したがオープンにできない。	災害時の救助マップを作成したが、プライバシー保護という理由で、オープンにできず有効活用できない。	58
			障害者	ソフト救急の体制整備	精神障害者のソフト救急（入院の必要はないが、加療が必要である場合の救急）の体制が整っていない。	59
	無人駅では聴覚障害者にサービス出来ない。			災害発生時、無人駅ではマイク音声での対応なので、聴覚障害者にとっては危険にさらされる不安がある。	60	
	児童		通学の安全	団地周辺の子どもの通学時の安全には問題が多い。	61	
			児童が安心して安全に遊べる場所が少ない。	子どもにとって安全な遊び場が少ない。	62	

フォーラム	キーワード (生活課題)	区分	カード記載内容	検討後問題要旨	No
花見川	情報・情報の共有・啓発	障害者	事業者の使い勝手	ホームヘルパー等の一時的な利用は急な利用であることが多いことなどのため、事業者としては職員を確保しておくことが難しく、利用者が頼みたい時に利用できない。また、事業者と利用者の情報交換の場がなく、お互いの意思統一がはかりにくい。	63
			精神障害者の理解不足	精神障害者に対する理解が不足しているため、差別や偏見が根付いている。	64
		児童	子育て支援のシステムがあっても協力者が少ない。	子育て支援のシステム（ファミリーサポートセンター）があっても、協力者（提供会員）が少ない。	65
			母親への子育て教育	保育園や学校の調査では、子どもに満足な朝食を取らせていない親が多いらしい。若い世代には子育てを教えてもらえる人がいなく、子育てに自信を持っていない。	66
			子どもの家庭での最低限のしつけがなされていない。	子どもの家庭での最低限のしつけがなされておらず、非行化する原因の一つになっている。	67
			児童虐待対策	自治会では福祉及び安全ネットワークが組織されており、児童虐待の防止に期待が持てるが、その組織の存在が十分に周知されていない。	68
		その他	支援者のバックアップが欲しい。	ボランティアや専門家等の支援者の情報が不足しており、相談する窓口がわからない。	69
			ゴミポイ捨て対策	ゴミのポイ捨てが多い。	70